

競 技 者 注 意 事 項

1. 競技規則について

本大会は、2023年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会の申し合わせ事項により実施します。

2. 練習について

- (1) 練習は事故防止のため、マーシャル・競技役員の指示に従いましょう。
- (2) ホームストレートでの練習は禁止します。特に、フィニッシュライン周辺は、写真判定の妨げになるので、近づかないで下さい。
- (3) 跳躍・投てき競技の練習は、審判員の指示に従い、競技開始前にフィールドで行います。
- (4) 練習トラックは、バックストレート側左回りとし、逆走は禁止します。
5～8レーンとし、戻りはレーンの外側を戻ります。
- (5) ハードル練習は、11：30～12：30 の指定時間のみ使用し、他時間は禁止します。
6レーン 女子専用 7レーン 男子100mH
8レーン 男子110mH です。
- (6) リレー練習は、5・6レーン 女子チーム
7・8レーン 男子チーム にて行います。

3. 招集について

- (1) 競技者招集場所は、100mスタート付近に設置します。
- (2) 競技者招集及び終了時刻は、プログラム表の

トラック競技	開始・競技開始時刻	30分前より
	終了・競技開始時刻	20分前まで
フィールド競技	開始・競技開始時刻	40分前より
	終了・競技開始時刻	30分前まで
- (3) 招集は、必ず本人が行い、代理は認めません。
- (4) 上記の招集時刻に遅れた競技者は、「棄権」と見なします。但し、招集時刻に他種目に出場し重複する場合は、競技者係とフィールド審判員へ申し出て競技に支障のない ようにして下さい。
- (5) 競技を「棄権」する競技者は、招集開始時刻の20分前までに、競技者係へ届け出をし、番号を消しに来てください。
- (6) リレー競技に出場するチームは、競技開始1時間前までに、オーダー用紙を競技者係へ提出して下さい。提出終了時刻を超えた場合は、棄権したものとします。オーダー用紙は競技者係に備えてあります。
- (7) リレー競技に出場するチームは、4人揃って競技者係でチェックを受け、第4走者は腰番をもらい、右腰につけてください。
- (8) 招集完了後、競技者は競技者係の指示に従います。

4. アスリートビブスと腰番について (旧ナンバーカード・ゼッケン)

- (1) アスリートビブスは、主催者で要したものを、そのままの大きさを、ユニホームの「胸と背中」にしわにならないように、四隅をしっかりとピンで止めます。但し、跳躍競技の競技者は、胸か背中の方でも良い。
- (2) トラック種目の競技者は、競技者係で招集時に配布される写真判定用の「腰ナンバー標識（腰番）」を、原則パンツの「右腰」へ付けて下さい。
- (3) 布製ピン止めの腰ナンバー標識（腰番）は、同競技終了後は、外してピンと一緒に返却箱に返却して下さい。
- (4) アスリートビブスとピンは、返却不要です。

5. トラック競技について

- (1) スタートの合図は、イングリッシュコマンド（オンユアマークス*セット）で行います。但し、小学生は日本語で行います。
- (2) レーン順は、プログラム記載番号順とし、欠場者レーンは空けます。
- (3) スターティングブロックは、小学生を除き使用します。但し、小学生のスタートは、ブロック使用・スタンディング・クラウチングでも良いです。
- (4) 400mまでの競技は、セパレートスタートとします。
- (5) 800m以上の競技は、オープンスタートとします。但し、出走人数によってはグループスタートで行う場合もあります。
- (6) 予選のない全レース（ハードル競技含む）は、プログラム表示の有無にかかわらず、タイムレース（TR）決勝とし、記録順に順位を決定します。
- (7) 予選のある競技は、タイム順に上位8名が決勝へ進みます。同記録の場合は、抽選とします。尚、決勝のレーン順は、本部で決定します。
- (8) 不正スタートした競技者は、1回で「失格」とします。小学生は、同一競技者が2回不正スタートをした場合に、「失格」とします。但し、失格者は希望すればオープン参加とし、その競技に参加することはできるが、記録は参考記録となります。
- (9) セパレートレーンを使用する競技では、フィニッシュライン通過後も安全のために自分のレーンを走りましょう。
- (10) リレー競技のマーク用テープは、各チームでチーム名を記入して用意し、レース後は剥がしてください。
- (11) 給水は、天候状況（高温等）により、3000m・5000mで実施します。

6. フィールド競技について

(1) 競技順はプログラム記載の順序によります。試技数は、3回で上位8名を決定し、以後3回の試技を行います。但し、小学生・中学生は3回とします。

(2) 走高跳のバーの上げ方は、原則下記の通りとします。

	中学女子	中学男子	一般女子	一般男子
練習の高さ	1m05cm	1m20cm	1m30cm	1m55cm
競技開始の高さ	1m10cm	1m25cm	1m35cm	1m60cm

但し、グランドコンディション・競技者の状況等により、審判長判断により、変更もあります。競技者が最後の一人になり、優勝が決まるまでは、5cm刻みとします。

(3) 小学生の走り幅跳びは、実測とします。希望により踏切版からの実測でも可。

(4) 砲丸投げの重量は、
中学女子 2.72kg 中学男子1・2年
4.0kg 中学共通男子 5.0kg 一般女子 4.0kg
一般男子 7.26kg とします。

7. その他

(1) 競技に使用する器具類は、全て主催者が用意したものを使用します。

(2) 競技用靴について、スパイクのピンの長さ 9mm以下、走高跳

12mm以下、ピンの数は11本以内とします

靴底の厚さは フィールドとトラック800m未満の種目は、20mm以内、800m以上の種目は 25mm以内とします

但し、小学生は除外します。

(3) 競技者は、ビデオ装置・携帯電話・スマホ・タブレット・トランシーバーもしくは、類似の機器のグランド内での所持・使用を禁止します。

(4) 競技者は、競技中にその場所を離れない事。離れる時は競技役員に申し出ましょう。

(5) 各競技の記録は、レース終了後約30分を目途に、本部裏側のスタンド下付近に掲示します。

(6) 表彰は、各種目の 1位～3位までに、賞状・メダルを授与します。

ハードル競技の規格

	(高さ)	(アプローチ)	(インターバル)	
1年男子100mH	83.8cm	13.00m	8.50m	10台
2年男子110mH	91.4cm	13.72m	9.14m	10台
3年男子110mH	99.1cm	13.72m	9.14m	10台
1・2年女子100mH	76.2cm	13.00m	8.00m	10台
3年女子100mH	76.2cm	13.00m	8.50m	10台

競技以外の注意事項

1. 競技役員用に、7：00に開門します（北門・南門）。
2. 競技役員以外の入場は 8：15以降とし、9：30以降北門は閉鎖し、南門のみ出入り可能となります。
3. 今大会は、体温が37.5℃以上の場合は、来場・参加は認めません。
4. ビデオ・写真撮影等をする場合は、大会本部に 住所・氏名・電話番号等を申告し、「名札」を着用して下さい。
5. 正面スタンド前やコーン等で区画されている場所は、立入禁止です。
6. 競技中における競技者の負傷等についての応急処置は、本部で行うがその後については、責任を負わないので、十分に注意すること。
7. 競技場のグラウンド内での飲食は禁止とする。但し、競技選手については、水分補給のための水筒・ペットボトルの持ち込みは認める。
8. 男子・女子の更衣室はスタンド下にありますが、シャワー室は使用できません。
9. グラウンド内の芝生は立ち入り禁止なので入らないこと
10. 雨天の場合は、退避する場所がありません。各自で雨対策をお願い致します。
11. 自転車等は指定の駐輪場に停めて下さい。
12. 盗難防止のため貴重品は各自で管理し、注意して下さい。
13. 「ゴミ」は各自持ち帰り周囲の美化に努めて下さい。
14. 補助員や協力いただく生徒は、「印鑑持参」のうえ、8：30までに、本部ダッグアウト役員係へ集合して下さい。
15. 競技役員控室は、（1）出発係・監察係・フィールド係他 ダッグアウトは用器具係・技術総務係（2）本部・記録係・写真判定係・スターター係
ダッグアウトは 役員係で使用します。